

新春座談会

地震多発国日本における地震対応

今後の地震研究の課題と期待

2023年は1923年大正関東地震から100年の年です。
また、2011年に東日本大震災からすでに12年が経過しようとしていますが、未だ余震活動が続いています。
一方で、国難の災害と考えられる首都圏直下地震、南海トラフ巨大地震のリスクも高まっている現状です。
これらを踏まえ、日本の地震研究の著名人をお招きし、地震多発国における今後の地震研究の課題と期待について討論を行い、地震研究の理解と被害軽減への貢献を目指します。

登壇者



深尾 良夫 氏

東京大学名誉教授
海洋研究開発機構特任上席研究員

東京大学地震研究所長、海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域長等を歴任



鳥海 光弘 氏

東京大学名誉教授
海洋研究開発機構招聘上席研究員

東京大学新領域創生科学研究科教授、海洋研究開発機構海洋地球生命史研究分野長等を歴任



金田 義行

香川大学地域強靱化研究センター長、学長特別補佐
防災科学技術研究所主幹研究員

海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクトリーダー、名古屋大学減災連携研究センター特任教授等を歴任

お申込みはコチラ
(1/26✕)



<https://forms.office.com/r/d4YZ6DsynZ>

2023.1.31(火)

13:30~15:30

香川大学幸町キャンパス
OLIVE SQUARE
オンライン同時配信

【お問合せ先】

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

✉ kikikanri-c@kagawa-u.ac.jp ☎ 087-864-2544

